

観光入込客の動向

(1) 概況

平成13年の本県の観光入込客は、91,106千人で、前年から2,878千人増え(3.3%増)、入込客数では過去最高となった。本県の入込客は、平成3年から11年間連続して増えており、順調な入込みの傾向を示している。

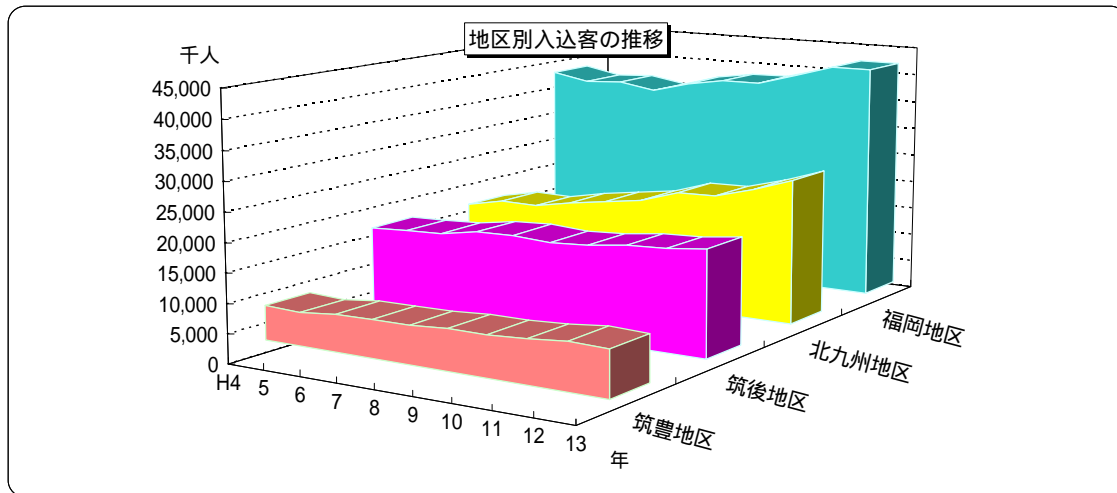
日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は、対前年比3.8%増の82,268人、宿泊客は、1.9%減の8,838千人となった。また、県内・県外別では、県内入込客が2.2%増の63,928千人となったのに加え、県外客についても5.9%増の27,178千人となった。

県内の地区別入込客は、福岡地区40,524千人(対前年比19千人増:0.05%増)、筑後地区18,002千人(対前年比783千人増:4.5%増)、筑豊地区7,786千人(対前年比149千人減:1.9%減)、北九州地区24,794千人(対前年比2,225千人増:9.9%増)となっており、筑豊地区は若干減少しているものの、他3地区は依然として増加傾向を維持している。

(最近10年間の地区別入込客数の推計)

(千人)

	H4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
福岡地区	35,460	34,194	34,652	33,516	35,364	36,464	36,539	38,461	40,505	40,524
筑後地区	14,198	14,488	14,802	15,866	16,111	15,724	16,111	16,883	17,219	18,002
筑豊地区	5,859	5,614	6,245	6,408	6,437	6,899	6,912	7,307	7,935	7,786
北九州地区	13,861	15,213	15,142	16,429	17,457	18,350	20,486	20,687	22,569	24,794
合計	69,378	69,509	70,841	72,219	75,369	77,437	80,048	83,338	88,228	91,106



県内の主な観光関連施設の状況は利用者の多い順に、

- ホークスタウン(福岡市) 19,000千人(対前年比80千人増:0.4%増)
- *福岡ドーム(福岡市) 8,700千人(対前年比300千人増:3.6%増)
- キャナルシティ博多(福岡市) 12,900千人(対前年比800千人増:6.6%増)
- 博多リバレイン(福岡市) 6,849千人(対前年比539千人減:7.3%減)
- マリノアシティピアウォーク(福岡市) 5,730千人(対前年比4,096千人増:250.7%増)
- ベイサイドプレイス博多埠頭(福岡市) 2,667千人(対前年比143千人減:5.1%減)
- スペースワールド地区(北九州市) 2,178千人(対前年比85千人減:3.8%減)
- 門司港レトロ地区(北九州市) 2,047千人(対前年比80千人増:4.1%増)となっている。

新規施設では、五郎山古墳館(筑紫野市)、筑前大島温泉さざなみ館(大島村)、平塚川添遺跡体験学習館(甘木市)、パークゴルフ場(杷木町)、水沼の里2000年記念の森公園(三潴町)、ほたると石橋の館(上陽町)などが各地でオープンした。

また、中世博多展(3~12月 福岡市)、世界水泳大会(7月 福岡市)、北九州博覧祭(7~11月 北九州市)など大型イベントが開催された。

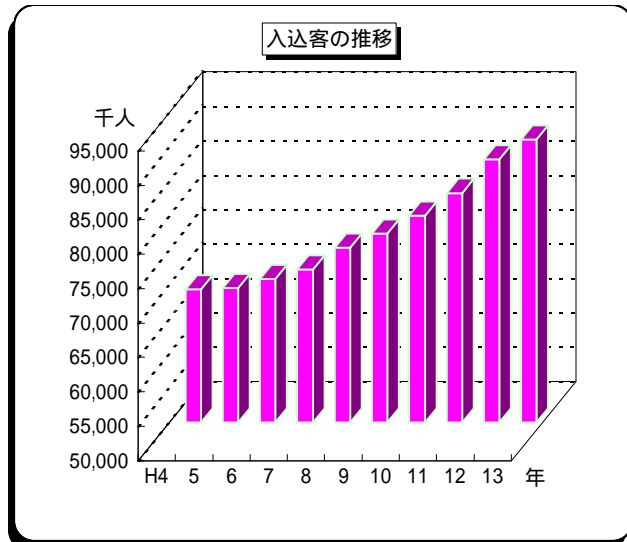
② 観光入込客の推移

(単位:千人)

	H4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
総数	69,378	69,509	70,841	72,219	75,369	77,437	80,048	83,338	88,228	91,106
対前年比	105.0%	100.2%	101.9%	101.9%	104.4%	102.7%	103.4%	104.1%	105.9%	103.3%
指数	100.0%	100.2%	102.1%	104.1%	108.6%	111.6%	115.4%	120.1%	127.2%	131.3%

平成13年の観光入込客は、前年比3.3%増の91,106千人となり、客数で過去最高を記録した。平成3年から11年間連続して客数が伸びている。

また、最近10年間で、入込客数は31.3%増加している。マリノアシティピアウォークをはじめ、各地区で温泉施設、物産館等新規施設が増加したことや、ホークスタウンや門司港レトロ地区などの都市型観光施設においてオープン以降も入込客が好調であること等により、県全体の入込客が増加した。

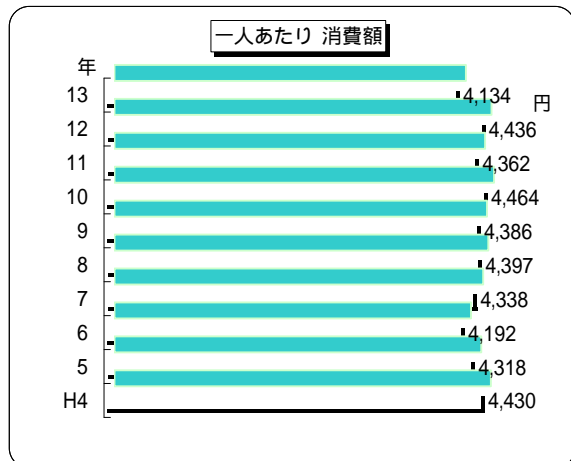
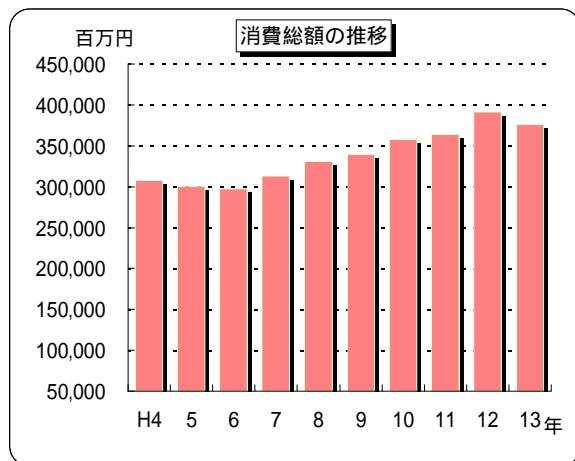


③ 消費額の推移

消費額については、平成13年は3,766億2,700万円となり、前年より3.8%の減少となった。消費総額は、平成7年から一貫して増加傾向にあったが、初めて減少に転じた。

また、一人あたり消費額については、平成13年は対前年比6.8%減の4,134円となり、平成7年以降4,400円前後で推移していたが、過去10年では最低の4,100円前半になった。

	H4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
消費額 (百万円)	307,318	300,126	296,979	313,292	331,372	339,645	357,353	363,505	391,355	376,627
対前年比	106.3%	97.7%	99.0%	105.5%	105.8%	102.5%	105.2%	101.7%	107.7%	96.2%
指数	100.0%	97.7%	96.6%	101.9%	107.8%	110.5%	116.3%	118.3%	127.3%	122.6%
一人あたり消費額 (円)	4,430	4,318	4,192	4,338	4,397	4,386	4,464	4,362	4,436	4,134
対前年比	101.2%	97.5%	97.1%	103.5%	101.4%	99.7%	101.8%	97.7%	101.7%	93.2%

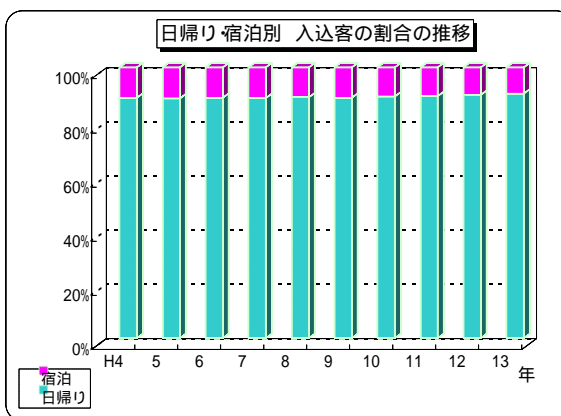
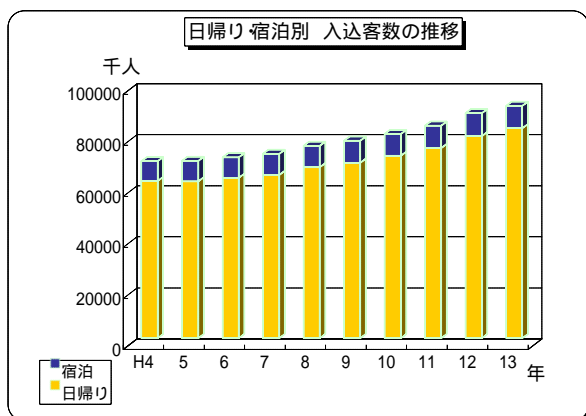


(4) 日帰り・宿泊別入込客の推移

(単位:千人)

	H4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
日帰り	61,609	61,531	62,908	64,000	67,036	68,705	71,469	74,483	79,219	82,268
対前年比	105.2%	99.9%	102.2%	101.7%	104.7%	102.5%	104.0%	104.2%	106.4%	103.8%
指数	100.0%	99.9%	102.1%	103.9%	108.8%	111.5%	116.0%	120.9%	128.6%	133.5%
構成比	88.8%	88.5%	88.8%	88.6%	88.9%	88.7%	89.3%	89.4%	89.8%	90.3%
宿泊	7,769	7,978	7,933	8,219	8,333	8,732	8,579	8,855	9,009	8,838
対前年比	103.3%	102.7%	99.4%	103.6%	101.4%	104.8%	98.2%	103.2%	101.7%	98.1%
指数	100.0%	102.7%	102.1%	105.8%	107.3%	112.4%	110.4%	114.0%	116.0%	113.8%
構成比	11.2%	11.5%	11.2%	11.4%	11.1%	11.3%	10.7%	10.6%	10.2%	9.7%

平成13年の日帰り客数は、前年比3.8%増の82,268千人になったが、宿泊客数は、1.9%減の8,838千人となった。県全体の入込客数に対する日帰り客数と宿泊客数の構成比は、平成13年はそれぞれ90.3%、9.7%を示し、前年と比較すると日帰り客の構成比が若干増加した。



(5) 県内・県外別入込客の推移

(単位:千人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
県内	49,319	51,661	53,557	54,077	53,897	53,496	57,116	59,497	62,568	63,928
対前年比	103.4%	104.7%	103.7%	101.0%	99.7%	99.3%	106.8%	104.2%	105.2%	102.2%
指数	100.0%	104.7%	108.6%	109.6%	109.3%	108.5%	115.8%	120.6%	126.9%	129.6%
構成比	71.1%	74.3%	75.6%	74.9%	71.5%	69.1%	71.4%	71.4%	70.9%	70.2%
県外	20,059	17,848	17,284	18,142	21,472	23,941	22,932	23,841	25,660	27,178
対前年比	109.2%	89.0%	96.8%	105.0%	118.4%	111.5%	95.8%	104.0%	107.6%	105.9%
指数	100.0%	89.0%	86.2%	90.4%	107.0%	119.4%	114.3%	118.9%	127.9%	135.5%
構成比	28.9%	25.7%	24.4%	25.1%	28.5%	30.9%	28.6%	28.6%	29.1%	29.8%

平成13年の県内客の入込客数は、前年比2.2%増の63,928千人、県外客の入込客数は5.9%増の27,178千人となった。平成13年における県内客数と県外客数の構成比は、それぞれ70.2%、29.8%を示した。県外客の占める割合は、年によって一時低下が見られるものの、概ね20%台後半から30%で推移している。ここ数年は若干ではあるが、県外客の割合が増加傾向を示している。

